



ひこうきぐも

特定非営利活動法人 色 就労支援センター そらいろ
(就労移行支援事業・就労定着支援事業)

Vol.12
2023. 春

精神科デイ・ケアでの支援を通じて今、思うこと

医療法人里地会クリニック 松本 裕介

私が入職して17年が経ちました。入職当初は里地（さとじ）クリニックで、今は里地（さとち）会クリニックになりました。その間、精神保健福祉サービスは非常に多くの変化を迎えてきたと思います。支援費制度から障害者自立支援法、その後障害者総合支援法。精神科のリハビリテーションの中心であった精神科デイ・ケア（以後デイ・ケア）はというと点数の変化や加算、減算はあるものの基本的な建付けにはほとんど変化はありません。

私の入職当初と比べると、障害福祉サービスの社会資源はとて増えました。通所先の増大だけでなく、訪問による医療や福祉を提供するアウトリーチ支援の拡大。支援は本人だけでなくケアする家族への支援も進んできました。医療と福祉の連携不足を指摘する声もありますが、量は十分とは言わないまでも充実してきたと思います。介護保険制度スタートからのサービスの拡大のそれと近いものを感じています。

さてデイ・ケアはというと依存症や発達障害、リワークといったように専門化していくところが出てくるなど多様化していきました。またデイ・ケアでは2016年より、3年以上通所かつ週4回以上通所している方への減算が始まっています。これの意味するところはデイ・ケアを通過型のサービスに位置付けていることでしょうか。実際の通所者とはいうと確かに訪問サービスから回復しデイ・ケアに通所するようになった方や就労へのステップを歩んでいく方も多くいます。従来のようなひきこもり気味の在宅生活からステップ、退院後の生活支援として利用される方ももちろんおられます。一方で障害福祉サービスやオープン就労から戻ってくる利用者の方も多くいらっしゃいます。当院では主治医が他院の方の通所を受け入れています。他のデイ・ケアには様々な理由で通所できなくなった方が通所を希望されることもあります。精神疾患を抱えた当事者の方は右肩上がりの回復をする方ばかりではなく、一進一退で進んでいく方や時折悪くなったり良くなったりする方も多くおられます。そうした様々な目的、経緯で通所されているデイ・ケアには通過型の機能だけでなく戻る場としての機能を合わせたプラットフォームの様な機能も必要です。ただ豊富になった社会資源の中で、そうした受け皿としてのデイ・ケアの役割だけではその存在意義を示せなくなっていると感じています。



松本 裕介

医療法人里地会クリニック
主任
精神保健福祉士

例えば正しいのかは分かりませんが、道の駅はただ沿道にあり休憩する場ではなく「休憩」「情報発信」「地域振興」をコンセプトに地域の活性化に一役買い、観光地化されてきました。精神科デイ・ケアもまた通過儀礼のような従来の役割だけでなくデイ・ケア自身の魅力を高め、選ばれていくところに昇華することが求められているのかもしれませんが。私たちが目的地に行くためにどのルートで行くかを選ぶことができるように、当事者の方もまた豊富になった精神科リハビリテーションの社会資源の中から自由に選び、どのプロセスで自分のリカバリーを実現するかを選ぶことができるのですから。

最後になりましたが、池田さん、いつもお世話になりありがとうございます。

そらいろさんのような魅力ある社会資源のひとつになり、精神保健福祉サービスのさらなる充実と当事者のリカバリー促進を目指し、日々研鑽をしたいと思います。

今回はいつもお世話になっている「医療法人里地会クリニック」の松本裕介主任に原稿をお願いしました。お忙しい中、ありがとうございました！

就職おめでとう！



今回は就職が決まった2名の方に就職活動と現在の様子を教えていただきました。

不安な気持ちでの就職活動は大変だったと思いますが、お二人とも確かな歩みを進められています。

Y.Iさん

ピアノ講師として働いていらっしゃいます。

『第一步』

今年の1月中旬からピアノ教室で働いています。

今はレッスンを実際に見学しながら、生徒さんを補助的に指導するという仕事をさせてもらっています。人にピアノを教えること自体が未経験なので、先輩の先生がどのようにレッスンをされているのを見ながら学んでいるところです。

音楽系の大学を卒業したこともあり、音楽のスキルを活かした仕事ができたら、との思いは常にありました。ですが、本当に自分につとまるのだろうかという不安もあり、なかなか足を踏み出せずにいました。今は勇気を出してチャレンジして良かったと思っています。

そらいろの担当スタッフの方々のサポートもあり、一歩夢に近づけました。

はじめてのことばかりで不安も大きいですが、先を見据えて頑張りたいです。



『意外に大丈夫！』

就職して10ヶ月が経ちました。

そらいろに通い始めた頃は自分が働く姿を想像できませんでしたが、そらいろのプログラムや面談を通してスタッフの方々や利用者の方々とお話しして、社会に出る自信が少しずつつきました。

そらいろに通い始めた時、就活で面接を受ける時、新しい職場で働き始めた時など、不安や緊張で潰されそうでも“やってみたら意外に大丈夫だった！”の連続でした。

フルタイムで働くという将来の目標に近づけるように、これからも“意外に大丈夫！”な経験を少しずつ積んでいきたいです。



R.Mさん

事務補助のお仕事をされています。

*Vol.11 (2022 秋号) 就職おめでとう！に掲載の塾講師のお仕事をされているのは「Yさん」ではなく「Tさん」の誤りでした。訂正してお詫び申し上げます。

『実習で自分を知る』

昨年、税理士事務所様の実習に6日間入らせて頂きました。今回の実習では、事務補助的な仕事も選択肢の一つにできないかという目的の実習でした。全く事務経験のなかった私は、大大大緊張でしたが、先方の担当者の方のご配慮で、始めは比較的わかりやすい業務内容にして頂いたことや、そらいろスタッフの方の同行で、少しずつ落ち着いていきました。パソコンを使った簡単な業務も少し体験させて頂きました。私のスキルでは難しく感じられましたが、無事、実習を終えることが出来ました。この実習を通してわかった自分の出来ることや苦手なことといった自分を知ることができ、とても有意義な実習となりました。今現在、就活に入っています。どのような職種を選んだとしても、この経験がきっと役立つことと思います。実習の機会を与えて下さり、皆様、ありがとうございました。(J.T)



『実習生受け入れを経験して』

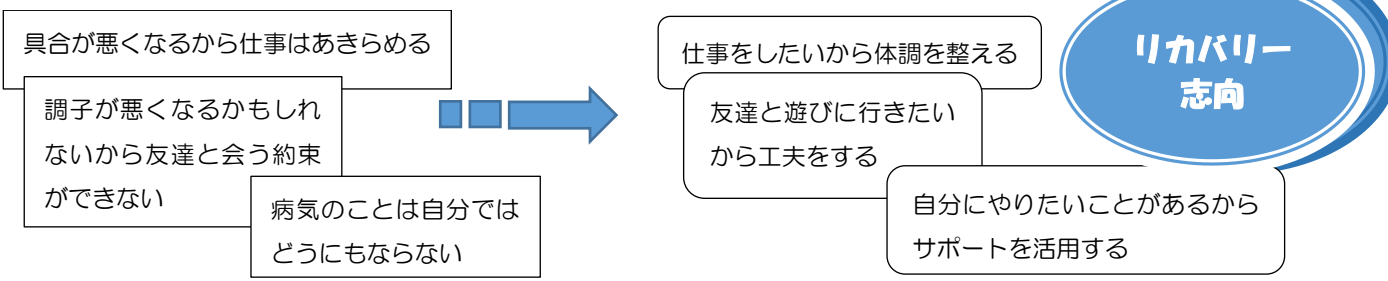
皆さんこんにちは、私は、そらいろさんから実習生の方をこれまで複数名受け入れさせて頂きました。皆さん非常に緊張した面持ちで職場まで来られますが、真剣にお仕事される姿を見て、こちらにも刺激をもらっています。

これから実習に行く方にお伝えしたい事は、受け入れるほうも意外と緊張しているという事です。実習を通じてなにか学びがあったり、今後の参考になる事があれば、こちらは非常に嬉しく思います。勇気をもって一歩踏み出した皆さんを応援しています。(税理士法人京都ビジコン ご担当さま)

いつも実習生を受け入れて下さっている税理士法人京都ビジコン様にコメントを頂きました。今後ともよろしくお願い致します。

■WSM（健康自己管理）プログラム

病気、症状次第の暮らし方ではなく、自分の望みを軸に生きていく



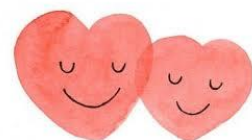
WSM プログラムは障がいや症状があっても主体的に生きていくため、自分のことを理解してコントロールできるように促すプログラムです。2~4ヶ月間、週1回、同じメンバーが集まって色々な話をしながら進めています。

みんなで、お互いを知りあう時間の第一歩かなあ！
一番大切な物は何ですかという題で、ある方が、両親からもらった腕時計と答えられ、もう動かなくなったけれど大切に保管されていると聞いた時に、その方がご両親の事を大事に思われていることを鮮明に覚えています。

また、みんなで話し合う中で自分と同じ思いをされている方がいると知り、ビックリしたこともありました。

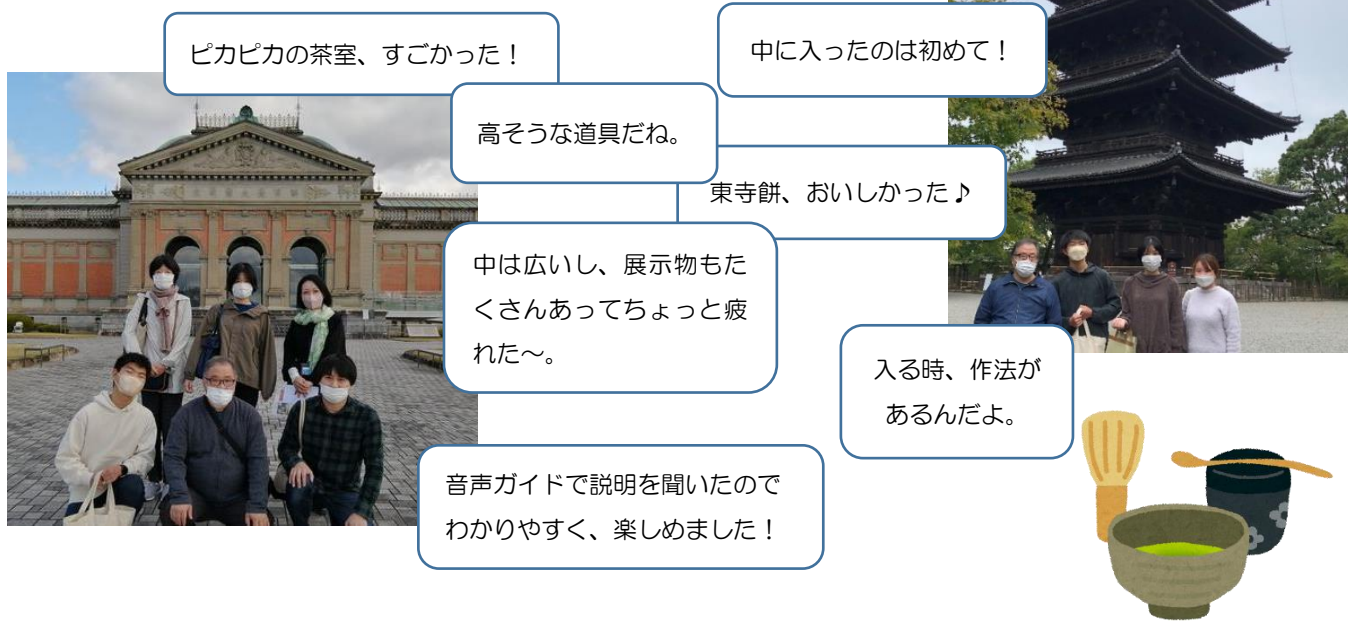
お薬のことも、自分で飲んでいて考えていた副作用の事がわかり良かったです。主治医との関係を深めておくことが自分にとって良いことになるかと解りました。このプログラムをとって、自分と向き合えたような気がしました。(K.O)

時々、自分の立ち位置を確認する事が大切だと感じました。チャレンジしていく事の重要性を再認識出来ました。(R.S)



■お出かけプログラム

秋の一日、有志の利用者さんと外出しました。
10月は世界遺産『東寺』を散策し、みんなで“東寺餅”を頂きました。
また、11月には京都国立博物館で茶の湯をテーマにした名品を鑑賞しました。
いろいろな話をして楽しく過ごすことができました。



■13年目に寄せて

4月で13年目を迎えることになりました。本当にありがとうございます。多くの人に支えられて今日の日があることを忘れずに、一日一日を大切に活動に集中したいと思っています。利用者の皆さんは、働くことのある人生を選び、変化する（成長する）ことに果敢に挑まれています。このために大変なご苦労と葛藤があることを身近で知りました。私たちスタッフは、利用者さんと共に変化する（成長する）勇気を常に持ち続けるため理念を大切に、学ぶことを大切にします。ほんの少しだけ利用者の皆さんのお役に立てるように・・・。
今年度もどうぞよろしくお願い致します。所長 池田克之

そらいろの理念

- 1, 可能性を信じ、チャレンジする
- 2, 「働くべき」から「働きたい」へ
- 3, いろんな個性でいろんな才能を
いろんな役割によっていろんな生き方へ
- 4, 過去より今、内より外、一人より人にあう



編集後記

雪の影響で交通機関の乱れがクローズアップされたせいでしょうか、今年の冬は長く感じました。雪の日も風の日も、就労に向けて取り組まれる利用者さんは練習の日などなくすべてが本番。そらいろでは夢に向かって進まれる利用者さんを応援しています。引き続きみなさまのご支援ご鞭撻をいただけますようよろしくお願いいたします。（スタッフ 荻原）

特定非営利活動法人 色
就労支援センター そらいろ

（就労移行支援事業・就労定着支援事業）

〒604-8805 京都市中京区壬生馬場町 11-5
TEL&FAX : (075)841-5111
E-mail : sorairokyoto@gmail.com
U R L : <http://sorairo-k.jimdofree.com>

